

【2 学期のはじまり】～行事を通して育む「自分と他者を尊重する力」～

本日から2学期が始まり、元気な子どもたちの声が校舎に戻ってきました。8月も終わり9月を迎え、朝夕には涼しい風が吹き、少しずつ秋の訪れを感じられるようになってきています。一方で、日中はまだまだうだるような暑さが続いております。

2学期には、運動会や音楽会、千代小まつり、修学旅行、校外学習など、クラスや学年で子どもたちが一丸となって取り組む行事があふれています。残暑に負けないくらい「熱い」2学期が始まります。行事に向けた取組の中で、子どもたちの心の中には「良いものをつくりたい」という前向きな気持ちと、「少し大変だな」という負担感が複雑に交錯します。時には上手いかず、葛藤やモヤモヤを抱えることもあります。

しかし、そうした気持ちを自分自身で整理し、乗り越えていくことこそが、大きな成長につながります。行事を通して得られるのは「集団としてのまとまり」だけではありません。他者と関わる中で「自分と相手の気持ちを調整する力」が身についていきます。AIをはじめとする技術がどれほど普及しても、私たちは家庭や職場など、多様な思いを持つ「人」と関わりながら生きていきます。人は他者との関わりの中で互いを認め合い、自己肯定感を高めていく社会的な存在です。だからこそ、相手を思いやりながら自分の気持ちを調整する経験が欠かせません。学校行事は、その力を育む大切な機会となります。

もちろん、最初から誰もが「行事だ!頑張ろう!」と意気込めるわけではありません。「暑熱順化」という言葉があるように、まずは身体と心を少しずつ学校生活のペースに慣らしていくことが大切です。2学期が子どもたち一人ひとりにとって充実したものとなるよう、教職員一同、しっかりと寄り添いサポートしてまいります。今学期も、あたたかいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



【教職員の復職と退職、教科交換授業について】

また、2学期より4年生・5年生・6年生の学年において、学年全体でクラスの状況を把握し子どもたちと関わる目的から、一部の教科で交換授業を実施します。

【千代田中学校のプールを利用した水泳授業の中止について】

7月28日(火)にtetoruで配信いたしました通り、今年度のプールの授業については中止とさせていただきます。安全面、指導体制、設備等に関して現地調査も含めて検討を重ねた上での結論となります。子どもたちの安全・安心を最優先に考えての判断でございますので、何卒ご理解とご容赦を賜りますようお願い申し上げます。

○夏休み作品展について



子どもたちが夏休みに作った作品(工作・図画・習字・手芸・自由研究・観察記録など)を一人2点まで体育館に展示します。次の日程で保護者の皆さまに展示開放しますので、ぜひご覧ください。

・9月2日(水) 12時～16時 ・9月3日(木) 9時～16時 ・9月4日(金) 9時～12時

○9月8日(火)電子機器との付き合い方・授業参観・学級懇談会について

授業参観が始まる前に、13:30～体育館で電子機器(スマホやタブレット)との付き合い方について、事前に保護者の皆さまにご回答いただいたアンケート内容から、生活指導担当の松山から共有をさせていただきます。お時間ありましたらぜひご参加ください。

授業参観については、5時間目のみとなります。参観後、学級(もしくは学年)懇談会を予定しています。クラスのお家の方同士が交流できる数少ない機会となりますので、ぜひご出席ください。

◎運動会 10月18日(日) 家族でお弁当を食べます



運動会当日(10月18日に開催の場合)、今年度も「家族でお弁当を食べる」ことにします。

運動会は、全校児童と家族や親戚のみなさん、地域の方々など、みんなで盛り上げるお祭りのもの、学校文化として位置づいてきました。午前中の演技・競技を終え、家族でお弁当を食べながら「一生懸命、走ったね」「楽しそうに踊っていたね」「自分たちの運動会ではこんなことをしたよ」などの会話をしながら、お昼のひとときを過ごしていただきたいと思います。

また、家族の温かいまなざしとともに、地域の方々からも温かくて大きな拍手をもらうことで、「暑い中、一生懸命練習してよかったな」「やりきることができたな」と達成感を味わい、「また、がんばろう!」という意欲にもつながります。

保護者の皆さまには運動会当日にご都合をつけていただいたり、朝早くから準備をしていただいたりすることになりますが、よろしくお願いします。後日、誰と弁当を食べるかを確認する手紙を配付いたします。

☆☆ 2学期のおもな行事について ☆☆



9月8日(火) 電子機器との付き合い方 授業参観・学級(学年)懇談会	11月5日(木)・6日(金) 6年修学旅行
19日(土) 環境整備作業	19日(木) 5年音楽会
25日(金) 千代小まつり	21日(土) PTA講演会(千代田中にて)
10月18日(日) 運動会	12月1日(火)・3日(木)・7日(月)
19日(月) 運動会代休	8日(火) 個人懇談会
20日(火) 運動会予備日	17日(木) 6年音楽会
	24日(木) 2学期終業式

9月行事予定

令和8年度 行事予定表<9月>

河内長野市立千代田小学校

日	曜	主要行事	下校時刻
1	火	<短縮3h> 集団登校(1日~7日) 2学期始業式大阪880万人訓練	全学年11:30
2	水	2学期給食開始日 教育実習開始 12:00 作品展① 卒業アルバム写真撮影 6限 委員会活動(9月分) ぐんぐん《4年》	6年15:55 他14:50
3	木	9:00 作品展② ニ計測《6年》	12年14:50 他15:40
4	金	9:00 作品展③ ニ計測《5年》	12年14:50 他15:40
5	土		
6	日		
7	月	ニ計測《4年》	123年14:50 456年15:40
8	火	<通常5h> 13:30~電子機器との付き合い方 5限授業参観② 6限学級懇談会	全学年14:50
9	水	<通常5h> ニ計測《3年》	全学年14:50
10	木	34限 救命入門コース《5年》 ニ計測《2年》	12年14:50 他15:40
11	金	ニ計測《1年》	12年14:50 他15:40
12	土		
13	日		
14	月	<特別校時5h> 3限 非行防止教室《5年》	236年13:45 145年14:50
15	火	<B校時> 2限 シャボン玉遊び《1年》雨天時17・18日	1年14:20 他15:10

16	水	5限 郷土歴史学習《5年》 6限 クラブ③(卒業アルバム写真撮影含む)	123年14:50 456年15:55
17	木	<B校時> 4限 福祉学習(視覚)《5年》 社会見学《3年》【モリ工業】	12年14:20 他15:10
18	金	5限 わくわくタイム	12年14:50 他15:40
19	土	PTA環境整備作業	
20	日		
21	月	敬老の日	
22	火	祝日法第3条第3項による休日	
23	水	秋分の日	
24	木		12年14:50 他15:40
25	金	千代小まつり	12年14:50 他15:40
26	土		
27	日		
28	月	運動会練習 開始 6限 ぐんぐん《3年》	123年14:50 456年15:40
29	火		1年14:50 他15:40
30	水	6限 委員会活動(10月分) ぐんぐん《4年》	6年15:55 他14:50



16日(金)運動会特別校時
18日(日)運動会

〇10月のおもな行事



3日(土)中学校体育大会

5日(月)6限運動会係活動①

7日(水)通常 4限授業

※市内研修日のため

8日(木)1限運動会全体練習①

6限運動会係活動②

9日(月)1限運動会全体練習②

6限目 World 学習

14日(水)1限運動会全体練習③

秋季尿検査一次①

15日(木)秋季尿検査一次②

※予備日は20日(火)

19日(月)運動会代休

21日(水)6限クラブ活動

23日(金)6限郷土歴史学習(4年)

※放課後:6年修学旅行説明会

25日(日)バリエティフェスタ(楠小)

26日(月)ぐんぐん(3年)

27日(火)あいあいあいさつ活動

28日(水)通常 4限授業

※地区内研修日のため

29日(木)遠足(2年)



2学期がはじまりました

長い夏休みが終わり、今日から1学期が始まります。1学期終わりの終業式では「挑戦しよう」と子どもたちに投げかけました。自分があまりしたことがないこと、初めて取り組むことに挑戦してほしいと話しました。各担任は子どもたちの夏休みの出来事や思い出をたくさん知りたいと思っています。お家でも「先生に自分の思いを伝えよう」と背中を押していただけるとありがたいです。自分の気持ちを表現できる子どもは学校で目指す子ども像の一つの柱です。

「反対」のことを大切にほしい

多くの児童が遅刻せずに登校することができ、始業式に参加することができました。校長からの話で「反対のことを大切にしてほしい」という内容を伝えました。2学期が始まると「いやだな～」と感じる子どもが多くいます。めんどうだったり、しんどかったりするのでしょう。その反対には「早く学校に来たかった」と感じている子どももいます。その反対の人は「なんでそう思うのかな？」と考えてほしいと思っています。そのことで自分とは違った思いや願いがあるということを学ぶことができます。目指す子ども像の一つである「人のためになる行動をしよう」につながる考えです。

夏休みには8月6日、8月9日、8月15日と戦争について考える日がありました。平和を守るために日本はどうしていったらよいか？を考えると、自分とは違う考え方に会えるときがあります。そんなときに反対の意見をしっかり聴き、理解し、議論できるようになると良いと思います。友達とケンカをしたり、トラブルになったりしたときに意見が食い違う場合にどう意見を聞きあうかを大切にしていきたいと思っています。多様性を包摂できる子どもに育てたいと思っています。

「わからない」を大切にかしこくなる

子どもたちは宿題や練習問題をするとときに「わかる」問題を意欲的に行う傾向にあります。問題を間違えることがゆるせない、イヤだと感じる子どもも多くいます。自信を持って取り組むことができるからだろうと思いますが、「わからない」問題こそしっかり取り組んでほしいと思っています。「わからない」問題に出会った時に、「なぜわからないのだろう」「どうしたら問題が解けるのか」と考えることが大切にするということです。本来、学びとはわからないことがわかるようになったり、わからなかった知識をわかったりすることが本質です。またわからないことがあったときに、近くの友達、先生、親、祖父母などに「教えて」と助けを求めることが学びの第一歩になります。

これからの学校教育では「自ら学びを進めていく力」をもった子どもを育てていくことが求められています。先生にただ教えてもらうだけではなく、子どもが自ら学んでいくことも必要だと言われています。自分から「教えてもらう」ために声をかける姿も主体性の表れです。主体的に学ぶ姿をさまざまな場面で見ることができたらいいなと思っています。